



待ちに待った雪遊び

R8.1.22(木)

ひまわり組

「今日は雪遊びできるかな?」と楽しみにしていた子どもたち!保育者が「どんなことして遊びたいの?」と問いかけると、「雪合戦」「かまくら作り」「そりすべり」「雪だるま作り」と遊ぶことを想像して話す姿が見られました。

戸外へ出るまでは、「寒いしな~」と消極的な声も聞かれましたが、真っ白な雪を目の前にすると、どの子も走り出し遊び始めました。雪合戦、かまくら作り、雪だるま作りなど友だちを誘いながら夢中で遊んでいました。雪だるまは、「顔どうしようかな?」と目や鼻、手などをつけていました。お迎えに来てくれた人にも見てもらえるように、「じゃあ見えるか通ってみるわ!」と角度を確認しながら手をつける方向などを考える姿もありました。

これからも雪や氷に触れて遊ぶ中で、寒さに負けず体を動かして遊ぶ楽しさ、そして冬の自然の不思議さ、面白さを感じていけたらいいなと思います。



雪遊びの準備をする中で、「手袋小さくてはめられない…」という声も聞かれました。実際にしてみることで使いにくさを感じる子もいたので、子どもたちには「自分でお家のにお話してね」と伝えてあります。お子さんと一緒に再度サイズ等の確認をお願いします。